

市民相談事業の充実 社会保険労務士相談員の配置の考えは

社会保険労務士会と相談し 総体的に検討していきたい

遠田 宗雄議員 現在、市民相談室で実施されている市民相談事業は、市民の多様なニーズに合わせた対応がされており、多くの相談者が利用している。長引く不況の影響もあり、雇用問題や年金に関する相談など、社会保険労務士による専門的なアドバイスに望む市民が増えていると聞く。

そこで、市民相談事業の更なる充実のため、社会保険労務士を相談員として配置する考えは。

第2次住宅マスタープラン 策定に向けての課題は

住宅ストックの活用や 魅力ある住環境の形成等である

池田 茂二議員 第1次住宅マスタープランでは、公共住宅の供給、質の高い住宅の供給の誘導、高齢者・障害者の住居継続の支援等の4つを基本とした施策の展開がされてきた。

策定中の第2次住宅マスタープランについては、課題への目標数値を設定し、施策の優先順位を決めることが大切と思う。

特に施策のポイントを簡単に明瞭に表現し明快性を出すこと

また、現在の市民相談室だけでなく、他の施設も利用していく考えはあるか。

市長 社会保険労務士による市民相談事業を充実させるための方策について、社会保険労務士会とも相談しながら、総体的に検討していきたい。

総務部長 市政情報センターの活用や、相談日を平日以外に設定することなどを視野に入れ、相談事業の充実に向けて検討していきたい。



▲市民くらしの総合相談から

「市民生活の安全確保に関する条例」 人権の侵害につながらないか

プライバシーに配慮 防犯カメラ等には厳格な管理が重要

服部 ひとみ議員 今議会で、「府中市市民生活の安全確保に関する条例」が提案された。この条例は、自治体の権限を超え、市民を巻き込んで、警察力の強化につながると思われる。また、同様の条例が既に東京都で制定され、各界から様々な疑義が掛けられている中、本市の条例の制定の必要性には疑問を感じる。

そこで、この条例が基本的人権の侵害につながらないか、市の考えを聞きたい。

幼稚園と保育所の一元化 市の考え方は

幼保一元化の継続的な検討は 今後必要

奈良崎 久和議員 近年、幼稚園と保育所の違いが、急速に小さくなってきている。単に幼稚園児の減少と待機児解消に対応する効率化施策としてではなく、これからの子育て支援と乳幼児の教育育成の観点から、府中市独自の考え方を立てていくべきと思う。

そこで、幼保一元化についての市の考えを聞きたい。
市長 近年の少子化の進行や、女性の社会進出に伴う保育ニーズの多様化などを背景とし

環境安全部長 市条例では、犯罪の防止に配慮した防犯設備について、事業者等の自主的な設置を求めている。防犯カメラ等の設置に当たっては、目的外の使用を禁止するなど、プライバシーに十分配慮した厳格な管理及び適正な運用が図られることが重要である。本条例についても、法の趣旨を遵守することは明確であり、自衛的な防犯行動の範囲内で設置されるべきものとする。

今後、幼稚園機能と保育所機能の在り方について、様々な視点から検討していきたい。子育て支援本部長 今後の多様な育児支援の実現という観点から、将来に備えた幼保一元化の継続的な検討は、今後必要と考える。待機児解消に向け、幼保一元化も視野に入れて考えていきたい。



▲楽しくお遊戯 (市立三本木保育所)

常任委員会からの審査報告

総務委員会

第52号議案

平成14年度府中市競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、歳入が9億87億982万9000円、歳出が9億86億1984万4000円との説明があった。

質疑に対して、「従事員は、現在575名であるが、減員について、これから組合と協議していきたい。

また、賃金は、現状では他場と比較して、まだ高い状況となっている」との答弁があった。

委員から、「非常に厳しい状況の中で、一般会計への繰出しや、基金への積立てを行うなど、努力の跡が見られ、本案に賛成する」、一方、「ギャンブルという性質上、全国に拡大していくようなものではなく、本市のやり方には合意できないので反対する」との意見があった。

採決の結果、本案については、賛成多数により、認定すべきものと決定した。

文教経済委員会

第49号議案

平成14年度府中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、歳入が14億2億733万9000円、歳出が14億1億5795万4000円との説明があった。

質疑に対して、「収納率は、景気の悪さが影響し、思うように上がっていないが、滞納整理が前進した。収納率向上対策は、保険年金課と納税課が連携を強化し、取り組んでいる」との答弁があった。

委員から、「収納の努力にもかかわらず、滞納が増えているという状況は問題と認識しているが、決算については認定したい」、「短期証、資格証のやり方については改善を求めていきたい。特に差押えまでになると医療にかかれなくなるので改めてもらいたいと思うが、決算については認定する」との意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、認定すべきものと決定した。

厚生委員会

第43号議案

土地及び建物の買入れについて

この議案は、子育て支援中核施設を、府中駅南口第三地区再開発事業の施設建築物内に開設するため、必要となる土地及び建物の買入れをするもの

質疑に対して、「買入れの予定価格は、11億9278万3100円であり、その内訳は、土地が6億3615万5000円、建物に5億5662万8100円である」との答弁があった。

委員から、「議会の中でも十分議論してきた経過を踏まえ、子育て支援の中核施設として、駅近くのこの場所が一番望ましいので、本案に賛成する」、一方、「再開発に反対する」との意見があった。

採決の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会

第41号議案

府中市地域まちづくり条例

この議案は、地域の特性を生かした住みよいまちづくりを実現するため、新たに条例を制定するもの

それぞれの条文ごとに詳細な説明を受けた後、質疑に対して、「5000m以上の大規模土地取引行為の事前届出制度は、市がまちづくり方針に照らして、適正な土地利用の誘導を図る観点から、売主に市の考え方を示す機会を設けることである」との答弁があった。

委員から、「府中市が社会に、こういう理想的なまちづくりをするというメッセージを伝えるものであり、本案に賛成する」、「建物の高さの件は、いろいろ市民が心配しているの、早期の実現を要望し、本案に賛成する」との意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。